

「チームトモミ」を結成し、 家族が一丸となって省エネを実践!

千葉県袖ヶ浦市 澤谷理恵さん

特徴

- エネルギー管理士である祖父の指導のもと、家族が協力して楽しく省エネ活動を行っている。
- 孫の知美ちゃん(小学5年生)をリーダーに「チームトモミ」を結成。
家庭内のあらゆる部分で考えられる細かい省エネを実践。
- エネルギーデータは、知美ちゃん自らエクセルでグラフ化。
- 広島在住のいとこまで協力して省エネ活動をしている。

小学校5年の知美ちゃんをリーダーに、 祖父が補佐役で省エネを実践。

澤谷家では、省エネコンテストの活動を通じて、「自分で考えて結論を出し、自分の考えに基づいて行動ができる」、そういう子供に成長してほしいという願いを込めて、小学校5年の知美ちゃんを省エネリーダーに抜擢、「チームトモミ」を結成し、活動に取り組み始めました。

実は知美ちゃんの祖父は現役時代、工場に勤務しており、エネルギー管理士の資格も取得していました。以前から省エネ意識を持ち、孫たちにも省エネの重要性を教えていたそうです。そこで今回、祖父が補佐役となり、知美ちゃんを全面的にサポートすることになりました。

■「チームトモミ」構成メンバー(8名)

リーダー：澤谷知美

メンバー：父、母、祖父、祖母、従姉、従弟、従妹

知美ちゃんが「調べる」「測る」を担当。 家族全員が参加して省エネ活動がスタート。

知美ちゃんは、「京都議定書」や「地球温暖化」について調べたり、澤谷家の2007年度のCO₂排出量を計算し、どういった部分で排出量が多いのかを分析していきました。その結果、住まいの中のCO₂排出量用途別ワースト5が判明。暖房、風呂・給湯、家電、自動車、水道水などをテーマに、1日1.483KgのCO₂削減を目標にして、「チームトモミ」の省エネ活動がスタートしました。

◇暖房

「こたつと石油ファンヒーターの併用」

こたつと石油ファンヒーターの燃料コストを比べたとこ

ろ、石油ファンヒーターのほうが、圧倒的にCO₂排出量も大きく、コストもかかることが分かりました。そこで、こたつを暖房の主役にし、石油ファンヒーターは、室内温度が低下した場合にのみ補助的に使用するようにしました。また、こたつを使う際も、アルミシート、下敷き、毛布、上掛けを用い、熱を逃がさないように工夫しました。



熱を逃がさない工夫を施したこたつ



- 1.こたつを使う時は、こたつの熱を逃がさないように
(1)上掛け布団の下に毛布を入れる
(2)アルミ保温シートをこたつ敷き布団の下に敷く
- 2.部屋の温度が下がらないように、窓は厚いカーテンで閉めてね
- 3.こたつのスイッチ切り忘れをなくすために、スイッチランプ付テーブルタップを使うといいよ
- 4.夜はウォームピズを着ると暖かいね

「湯たんぽの活用」

湯たんぽと電気毛布はどちらが省エネか調べたところ、使用料金、CO₂排出量とも、湯たんぽが優れていることが分かりました。



みなさん 湯タンポを使いましょう
朝まで暖かいよ♪♪



(後列左から2人目が知美ちゃん、4人目が祖父)

◇風呂

「入浴間隔の短縮」

入浴は個人の都合でまちまちでした。そのため、二人目以降は追い焚きをしていたそうです。そこで、家族が続けて入浴するように務め、できるだけ追い焚きをしないようにしました。また、プラスチックの蓋だけでなく、アルミシートを併用することで、湯温の低下を防ぐようにしました。



アルミシートとプラスチックの蓋でダブルで保温

「1人1分シャワータイム短縮」

1人3分間シャワーを使う場合と、1人1分間シャワータイムを短縮する場合を比べると、LPガス、水道水あわせてCO₂が1カ月で4.8kg削減されることが分かりました。



シャワーヘッドも節水型に交換

◇キッチン

「冷蔵庫適温設定による節電」

冷蔵庫の温度設定は、夏から秋にかけて設定した「強」を変更せず、そのまま使用していました。今年になり、冷蔵室を弱、冷凍室を弱、切換室をワインの温度設定に変更。その結果、エネルギー量は1カ月で33kwh改善されました。



温度設定担当はお母さんです♪

◇照明

「電球型蛍光ランプに取り替え」

電球型蛍光ランプと白熱電球のコストを比較したところ、差額はなんと3万円近くにも上ることが分かりました。そこで知美ちゃんは、自ら電球の買い物と交換を休日を使って行いました。頑張ったご褒美として、お父さんから4.300円（電気代1年間の節約分）が渡されました。



ありがとう うれしいな♪
ともみより

◇車

「ショッピングルートの改善」

お母さんは毎日、車で買い物していました。そこで、食

材をまとめ買いして運転を控えたり、ホームベーカリーを購入してパン屋さんへの運転を止めるようにしました。また、車で出かける前にショッピングルートを確認し、無駄な走行をしないよう努めました。

知美ちゃんの旺盛な好奇心と積極性に 家族全員が背中を押される。

これらの活動期間中、家族全員の協力で、チャレンジ目標を大きく上回るCO₂削減を達成することができました。その理由は、コンテストに参加し、子供と一緒に考え行動したこと。特に、知美ちゃんの旺盛な好奇心と積極性に家族全員が背中を押され、日々、省エネ行動に向かうことができたからだといえます。

「チームトモミ」の省エネ活動はまだまだ続きます。今後は、夏休みの課題として、省エネ実践研究に取り組みたいと考えているそうです。

祖父より

春休みを利用して、知美ちゃんといとこを交え、地球温暖化防止について一緒に学び、自分たちができることを話し合いました。地球図鑑を見ながら地球の起源を話し合っていたところ、突然、絵を描こうということになりました。この詩や絵を見て、美しい故郷の自然を子供や孫に残すため、「省エネ」で環境問題と一緒に取り組まねばならないと痛感しました。



【エネルギー削減率】 24.1%

■プロフィール

住所：千葉県袖ヶ浦市
家族構成：3人（夫婦・子供）
住宅様式：一戸建て
省エネ活動について：以前から実践
省エネナビ：設置